

# 霞

## — 2023年度 博物館だより —

土浦市立博物館

令和5年6月1日発行(番外第12号)

土浦市立博物館は、大規模改修工事のため、令和4年7月5日(火)から令和6年1月5日(金)まで休館いたします。博物館だより「霞(かすみ) 番外」では、毎月、工事の進捗状況や館外で開催する展覧会や講座の情報をお伝えします。休館中の「おうちミュージアム」(解説動画)では、土浦市内の史跡や文化財などの見どころを紹介します。

### 博物館は休館中！ (12)「博物館の災害対策① 浸水対策」

今回の博物館の大規模改修では、大規模災害に対する備えを目的とした工事も行われています。浸水に備えて、地下非常口周辺のコンクリートの嵩上げや、浸水防止板(止水板)設置の基礎工事を行いました。



地下非常口の嵩上げ



止水板の基礎工事

### ◆博物館からのお知らせ◆

#### ●『土浦市立博物館ブックレット2 色川三郎兵衛と土浦の洪水』を紹介します。

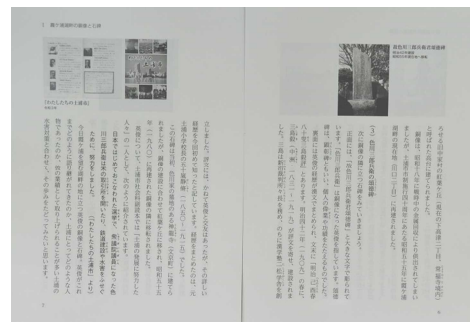
令和元年度から刊行を開始したブックレットの第2弾が発刊されました。

本書は、明治時代に茨城県会議員や国会議員を務めた色川三郎兵衛と、土浦で頻繁に繰り返されてきた洪水に焦点をあてています。

規 格 A5判 64 ページ

価 格 400 円

購 入 方 法 土浦城東櫓で販売しています。郵送での購入をご希望の方は、住所・氏名・ご希望の図書名を記入したものと、代金 580 円(送料 180 円を含む)を現金書留または郵便局の定額小為替で、下記住所までお申し込みください。なお、おつりは切手となります。ご了承ください。



〒300-0043 茨城県土浦市中央2丁目16-4 亀城プラザ2階 土浦市立博物館仮事務所

※亀城プラザ移転期間(2023年11月末まで)の宛先です。

2023年6月 おうちミュージアム解説

さかえいなりじんじゃ

# 栄稲荷神社

— 地域の記憶を伝える社 —

平成22(2010)年12月、桜町二丁目にある小さな稲荷社が土浦市の指定文化財(指定名称;栄稲荷神社本殿 附 神像及び扁額)になりました。覆屋内に鎮座する一間社流造の社殿は、明治9(1876)年に後藤縫之助(縫殿之助、1825~1901)が手がけたものです。縫之助は、国指定重要文化財である笠間稲荷神社本殿の彫刻で知られる名工です。栄稲荷神社の社殿の向拝を飾る龍や獅子は、小ぶりながらも躍動感のある造形で、目を見張るものがあります。

栄稲荷神社は元々、旧土浦城下の中城町(現中央一丁目)の菊池五郎右衛門家の屋敷内に祭られたものでした。史料上の制約から、菊池家の来歴は詳らかではありませんが、大正時代発行の『常南之人物』では「三百年來の旧家にして醤油醸造を業とす、其の醸造に係る醤油『キクチ』は品質優秀」との紹介がなされています。名工後藤縫之助の手になる菊池家の稲荷社は、まさに土浦の有力商家の威勢を示す作品です。

菊池家は昭和16(1941)年に家業を廃して、醤油醸造業は番頭であった稲葉家に引き継がれました。戦時中、稲葉家は土浦市小松に工場を構え、菊池家の稲荷社も一時ここに遷されましたが、昭和38年頃に稲葉家の自宅がある栄町、すなわち現在の桜町二丁目に移されました。

さて、現在の桜町一帯は、大正時代に桜川の左岸から土浦駅にかけて造られた新市街地です。大正11(1922)年頃から造成が始まり、同15年に料理屋などが集団移転しました。市街地の誕生は、土浦が海軍航空隊の玄関口として新たな発展をとげようとした時期と重なります。新しく誕生した町に名付けられた敷島町・朝日町・匂町・小桜町の各町名は、本居宣長の和歌「敷島の和心を人間はば朝日に匂ふ山桜花」をもとにしたと言われています。栄町は、昭和7年に匂・小桜両町から分かれることで誕生しました。この頃の土浦は、水郷の遊覧都市として東京からの観光客を積極的に呼び込んでいました。とくにソメイヨシノの樹勢が全盛期を迎えていた桜川堤は、重要な観光資源のひとつで、屋形船や貸しボートからの観桜を楽しんだり、雪洞の灯りが水面に映える夜桜を鑑賞する人々の姿があり、栄町はその名にふさわしい賑わいの中心地でした。

戦後、昭和47年の新住居表示により、栄町とその周辺は桜町二丁目に変更されました。旧町名の廃止に際して、旧栄町の人々がその町名と発展の歴史を後世に伝えることを企図して、歴史ある稲葉家の稲荷社を地域の社として迎えることになりました。稲葉家の主屋の方向に向いていた社殿を道路から人々が参拝できるようにし180度反転させ、旧栄町所有の山車の部材で覆屋を建築、「栄稲荷神社」と命名されました。名工後藤縫之助が手がけた稲荷社には、近代土浦の発展の記憶も刻み込まれているのです。後藤縫之助については、また別の機会にご紹介します。

(萩谷良太)



栄稲荷神社の本殿



左のQRコードから解説動画のウェブページへアクセスできます。

霞(かすみ) 2023年度 博物館だより(番外第12号)  
編集・発行 土浦市立博物館 茨城県土浦市中央1-15-18  
TEL 029-824-2928 FAX 029-824-9423  
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/dir000378.html>

博物館だより「霞」番外第13号の刊行は、令和5年7月1日(土)を予定しています。

※「霞」バックナンバーは、当館ホームページからもご覧になれます。(カラー版)